



January 1999 No. 19

(本部事務局) (財) 日本特産農作物種苗協会内 〒107-0052 港区赤坂 2-4-1  
 (つくば事務所) 農業情報利用研究会内 JRTつくば事務所  
 〒305-0033 茨城県つくば市東新井 26-4-603  
 TEL 0298-56-0236 FAX 0298-56-0024  
<http://www.isai.or.jp/~irt/>

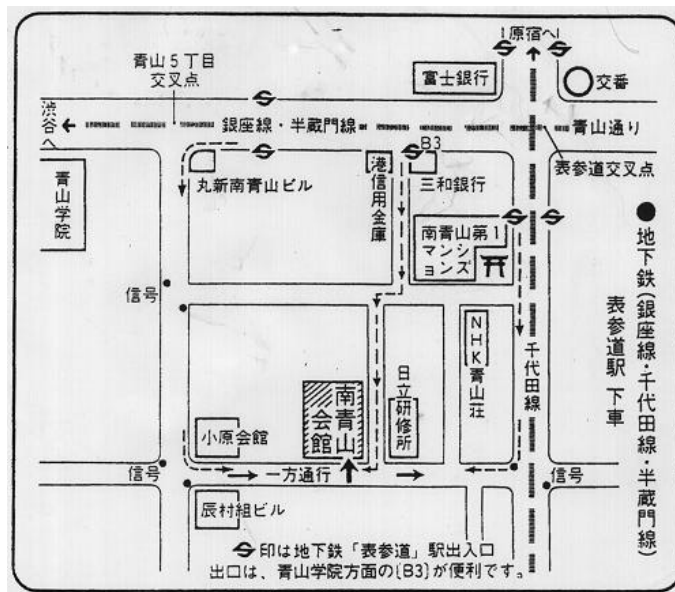
## 日本いも類研究会第3回総会のお知らせ

- 1 日時 平成11年 **3月18日(木)** 14:00~20:00  
 講演会等 14:00~17:10  
 事業報告等説明 17:10~17:30  
 懇親会 18:00~20:00
- 2 場所 **南青山会館 3・4号会議室 (2F)**  
 〒107-0062 東京都港区南青山5-7-10 TEL03-3406-1365 FAX03-3400-5663
- 3 内容  
 開会・来賓挨拶等  
 講演会・意見交換
- ・甘しょアントシアニン色素利用実用化について  
 三栄源エフ・エフ・アイ(株)第三研究部次長 香田 隆俊 氏
  - ・馬鈴しょ育種の状況について  
 北海道農業試験場 ばれいしょ育種研究室長 森 元幸 氏
  - ・2000年国際熱帯いも類学会について  
 農研センター 甘しょ育種研究室長 小巻 克己 氏
  - ・ミニディスカッション (有色甘しょの現状と今後の方向)  
 川越サツマイモ資料館長 井上 浩 氏  
 九州農業試験場 甘しょ育種研究室長 山川 理 氏  
 (鹿児島県)さつまいもの館 情報調査員 柳 員幸 氏  
 (宮崎県)新宿みやざき館 流通対策課長 吉沢 周司 氏  
 沖縄県物産店「わした」ショップ店長 上原のり子 氏  
 他

平成10年度事業報告及び  
 平成11年度事業計画案説明  
 役員を選任について  
 懇親会  
 (出席者からの活動状況等の  
 報告)  
 閉会

4 参加費 5,000円  
 (懇親会参加費)

(会場: 南青山会館)  
 最寄りの駅は、地下鉄(銀座線・千代田線・半蔵門線)「表参道」駅、青山学院方面の「B3」出口、徒歩5分



## 事務局の活動紹介とお願い

### －「備中いも」というサツマイモ－

日本いも類研究会のホームページには「おいも質問箱」というコーナーが設けられ、一般の方々からの質問に回答しています。基本的な質問については事務局で回答し、難しい質問についてはメーリングリストの方に照会、メンバーからのレス（回答）を伝えるというシステムです。

昨年、質問数の多い同趣旨のものについてはQ & Aとして取りまとめ、JRTwebに掲載したこともあり、初歩的な質問が減る一方で、難しい質問が増えてきています。

先日もサツマイモの品種について、以下のような問合せがありました。

母（昭和5年生まれ）が少女時代に食べたという“備中”というサツマイモを探しています。昭和20年代まで長崎で農業を営んでいた遠縁の者が作っていたそうです。身が紅く非常にねっとりした舌触りでとても甘かったそうです。

当時を知る人はみな、普通のサツマイモとは比べ物にならなかった、といいますが、当時でも珍しかったようです。現在では作られていないのでしょうか？

もう一度、母や伯母に食べさせたいのです。

事務局には知見がなかったので、早速、メーリングリストに照会したのですが、難問のためレス（書込み）がつかないままに、別な方からも同じ趣旨の要望が入ってきました。その方からは、別途、以下の情報が提供されています。

栽培していた場所は、長崎県島原半島（砂地）。いもの形状は細長くて小型。皮の色は赤色で肉の色は黄色、食味は粘質で、ものすごく甘い。寒さに弱いため1月頃は保存に気を遣う。別名「ぼたいも」と言うらしい。

もちろんボランティアとしての活動ですから、質問にすべて応えられる訳ではないのですが、わからないと余計に知りたくなるのが人情です。電話やFAXで有識者や長崎県庁に問合せみましたが、調べるほどに難問であることがわかってきました。

サツマイモ資料館の井上館長からは、以下のことを教えていただきました。

- 1) 備中（岡山）から長崎に逆移入していることを考えると比較的新しく、明治始めのころの品種かと思われる。肉が赤いということからカロチン系と思われるが、それらしい品種は思い当たらない。
- 2) 呼び名から品種を推定するのは非常に難しい。例えば、長崎県の五島で『ともいも』というのは地元の郵便局員が普及した沖縄100号であるが、このように持ち込んだ人の名前、あるいは地名がつくことが多い。和歌山県の最南端でも地方名が多く、農林2号を『四国いも』と呼んでいる。

また、長崎県庁からは、以下のような回答が返ってきています。

- 1) 「備中いも」というものが存在していたのは事実らしい。
- 2) 皮の色を除けば「七福」がピッタリであり、これは備中に近い広島県の久保田勇次郎がアメリカから導入した品種である。実際、「備中いも」＝「七福」と思い込んでいた人もいた。
- 3) 「七福」は食味が良いので、現在でも天草あたりでは農家の自家用として栽培されている。

甘藷品種図説（昭和25年3月刊行 食糧庁）の中から質問者の情報にあてはまるものを探すと、隼人藷（ポートリコ）、兼六（赤元気×ナンシーホール）の二つしか見当たらないのですが、隼人いもに備中の名前がつくはずありません。

また、「甘藷の歴史/双書日本民衆史7」（1962 宮本常一）の中に明治5年に安岡百樹が書い

た「甘藷之説」という書物の説明があります。この中で、安岡は四国の宇和島地方にはウスアカ、ボケイモ、アカイモ、シロイモ、アオメがあり、ボケイモは味が甘く上品であると記述しているそうです。質問者からの「ぼたいも」と「ボケイモ」という言葉の類似性などに想いをめぐらせていますが、現在のところ「備中いも」の正体は判っていません。

以上、事務局の活動の一端を紹介させていただきましたが、「備中いも」あるいは「ぼたいも」について心当たりの会員がおられましたら、事務局（JRTつくば事務所）まで情報提供をお願いいたします。

日本いも類研究会事務局 矢野哲男

### 北海道産新品種じゃがいも講演・試食会の概要

1月14日(金)に大阪で新品種じゃがいもの講演・試食会が開催されましたので、その概要をお知らせします。

主 催：北海道アグリ・フーズ(株) / (株)弘豚社  
場 所：アピオ大阪（大阪市立労働会館）  
来場者：外食、総菜関係者約70名  
講 師：梅村芳樹  
品 種：男爵薯、トヨシロ、キタアカリ、ベニアカリ、とうや、さやか、島系575号、ジャガキッズ、花標津  
メニュー：コロッケ、ポテトサラダ（キタアカリ）、シャキシャキポテト、トマト煮、ロスティー、お好み焼き、ジャガイモとハーブのソテー

関西地方ではこの種の「新品種紹介」は初めての試みだということで、東京地方より来場者から強い興味を示されていた。キタアカリについては若干知られていたが他の品種については初めて目にするという品種も多く、講師に対しいろいろな質問が出された。特にコロッケとこれに適する品種については関心が強かった。

現在、外食・総菜関係ではじゃがいも一般料理（肉じゃが、コロッケ、ポテトサラダ等）について品種の差別化による商品開発に力を注ぐことが予想され、既にそのような動きは始まりつつある。来場者からは今後このような試食会を継続的に実施して欲しいとの要望も出されており、主催者からも今後一層積極的に取り組みたいとのことであった。

### 馬鈴しょ新品種等試験栽培について

先月から募集しました「馬鈴しょ新品種等試験栽培」について、現在500名の募集人員に対し、430名の応募をいただき、ありがとうございました。こちらで用意いたしました種馬鈴しょが若干量余裕がございますので、ご希望の方があればトキタ種苗株式会社までご連絡願います。

品 種：キタアカリ、とうや、ホッカイコガネ  
単 位：10キロ  
送 料：着払い（口座振替による元払いも検討中）

なお、価格については調整中なのでご連絡いただいた時にお知らせします。

【連絡先】 トキタ種苗株式会社 馬鈴しょ試験栽培係

Tel 048-683-3434 Fax 048-688-1167